

電磁ロックにより、不用意なモード切替を防ぐことが可能なキー形セレクトアスイッチ

- ・メンテナンス時に安心な装置起動用セレクトアスイッチ
- ・キー操作部の電磁ロックにより、誤操作防止が可能。
- ・以下の製品のキー形状と共有化。
 - ・セーフティ・キーセレクトアスイッチA22TKのキー
 - ・電磁ロック・セーフティドアスイッチD4JLのトラップドキー
 - ・スライドキーユニットD4SL-NSK10-LKのロックアウトキー

⚠ 8 ページの「正しくお使いください」をご覧ください。

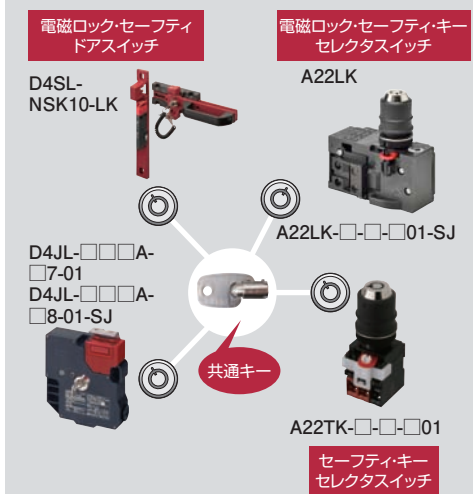
特長

電磁ロック・セーフティ・キーセレクトアスイッチ A22LKなら、電磁ロック・セーフティドアスイッチとキーを共通化することで、キーの抜き忘れ防止を実現。メンテナンス時に安心な作業環境を提供します。

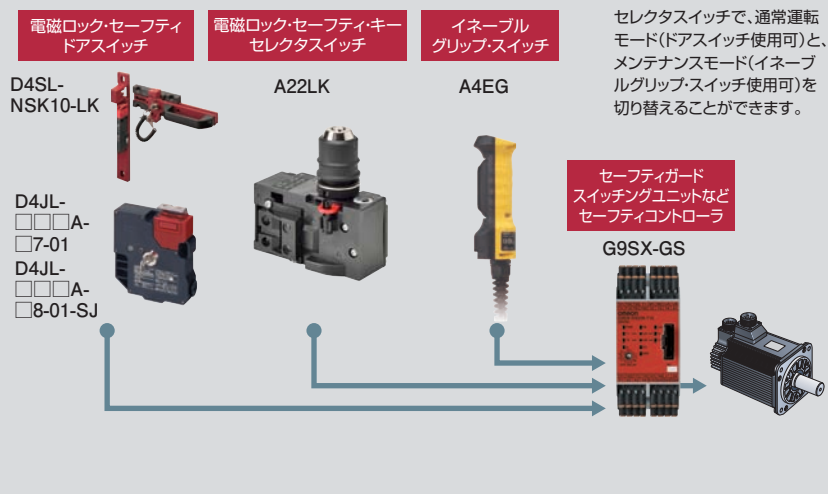


規格認証対象機種などの最新情報につきましては、当社Webサイト (www.fa.omron.co.jp/) の「規格認証/適合」をご覧ください。

ドアスイッチとセレクトアスイッチのキーを統一



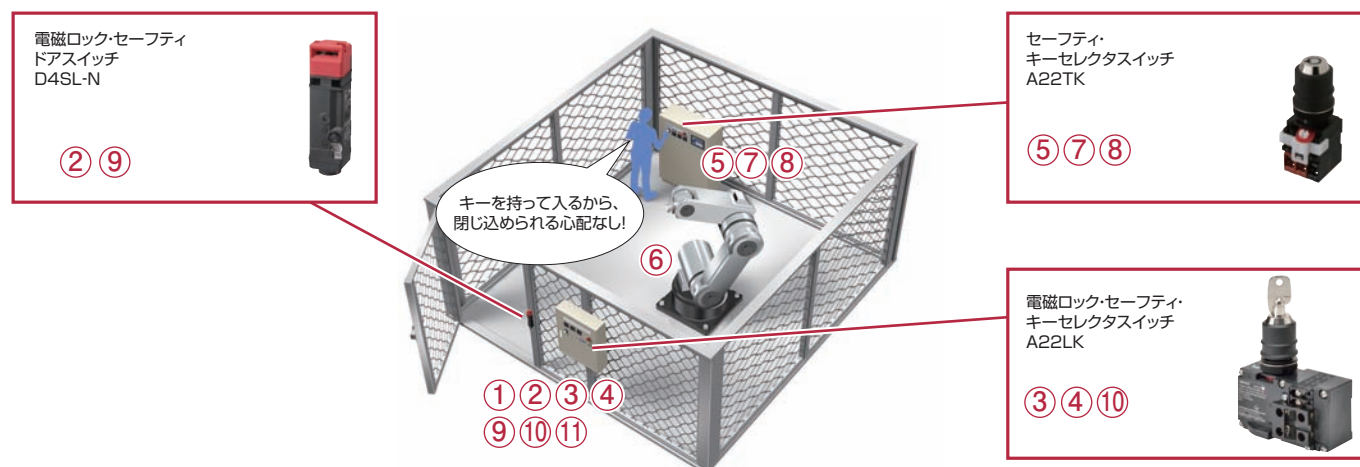
ドアロックからモード切替、ティーチング時の非常停止まで幅広く対応



使用例

RUN位置でロックする場合(形A22LK-2RLB-□使用)

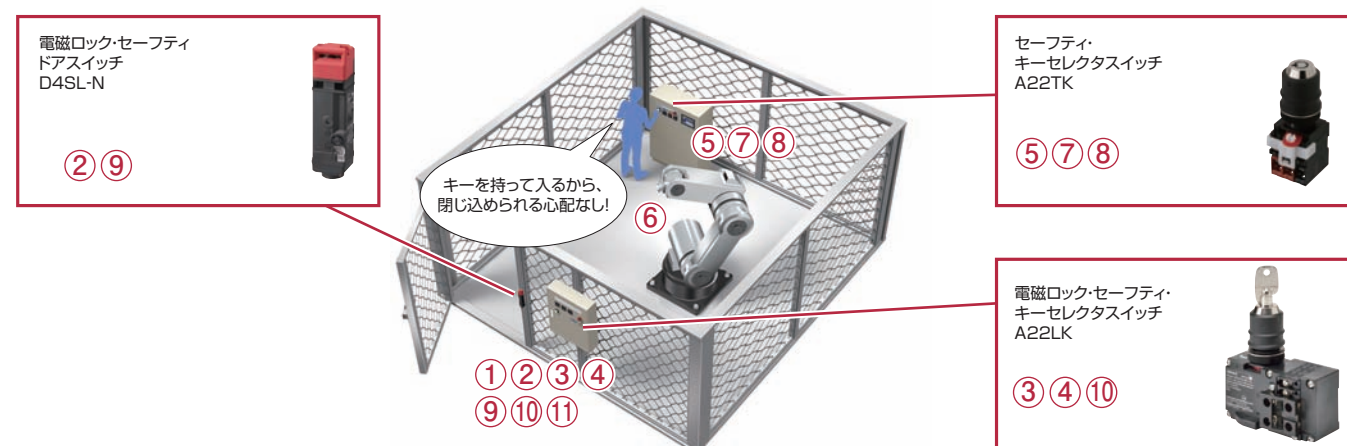
稼働状態の設備をメンテナンスモードに切り替えると一般に設備は停止状態になります。意図しない停止を防止するために形 A22LK-2RLB-□を RUN 位置でロックします。



動作	機械の 状態	機械の運転モード			
		定常	非常		
			メンテ不可	メンテ可能	
① 設備の停止	稼働⇒停止				1. 機械の停止ボタンを押す 2. 機械の停止状態を確認 3. 停止確認でD4SL-NとA22LKのロック解除を許可
② 扉のロック解除	停止				D4SL-Nのロック解除
③ モード切替	停止		→		1. A22LKのロック解除 2. キーを回してモードを【RUN】から【MAINTENANCE】に切り替える 
④ 扉を開けて中に入る	停止				1. A22LKのキーを抜く 2. 扉を開け、キーを持って中に入る 
⑤ メンテモードへの切替	停止			→	キーをA22TKに挿入し、 キーを回してモードを 【RUN】から 【MAINTENANCE】に切り 替える 
⑥ メンテの実施	メンテ				メンテナンスを実施する
⑦ メンテの終了	メンテ⇒ 停止			←	メンテナンス終了し、A22TKのキーを 回してモードを【MAINTENANCE】から 【RUN】に切り替える 
⑧ 扉の外に出る	停止				1. A22TKのキーを抜く 2. キーを持って外に出る 
⑨ 扉を閉める	停止				扉を閉めてD4SL-Nのロックをかける
⑩ モード切替	停止		←		1. A22LKにキーを挿入し、A22LKのキーを回してモードを【MAINTENANCE】 から【RUN】に切り替える 2. A22LKのロックをかける 
⑪ 稼働再開	停止⇒稼働				機械の起動ボタンを押し、稼働を再開する

メンテナンス位置でロックする場合(形A22LK-2RLA-□使用)

メンテナンスは一時的にドアスイッチの機能を中断したうえで設備をダウンさせずに行います。扉が開いた状態のまま不用意に RUN に切り替えるとドアスイッチの機能が再び有効になり設備がダウンしてしまいます。意図しないモード切替を防止するために形 A22LK-2RLA-□をメンテナンス位置でロックします。



動作	機械の状態	機械の運転モード		
		定常	非常常	
			メンテ不可	
① 設備の停止	稼働⇒停止			1. 機械の停止ボタンを押す 2. 機械の停止状態を確認 3. 停止確認でD4SL-Nのロック解除を許可
② 扉のロック解除	停止			D4SL-Nのロック解除
③ モード切替	停止	→		1. A22LKのキーを回してモードを【RUN】から【MAINTENANCE】に切り替える 2. A22LKにロックをかける  キー: 抜ける
④ 扉を開けて中に入る	停止			1. A22LKのキーを抜く 2. 扉を開け、キーを持って中に入る 
⑤ メンテモードへの切替	停止		→	キーをA22TKに挿入し、キーを回してモードを【RUN】から【MAINTENANCE】に切り替える  キー: 抜ける
⑥ メンテの実施	メンテ			メンテナンスを実施する
⑦ メンテの終了	メンテ⇒停止		←	メンテナンス終了し、A22TKのキーを回してモードを【MAINTENANCE】から【RUN】に切り替える  キー: 抜ける
⑧ 扉の外に出る	停止			1. A22TKのキーを抜く 2. キーを持って外に出る 
⑨ 扉を閉める	停止			扉を閉めてD4SL-Nのロックをかける
⑩ モード切替のロック解除	停止			1. 扉が閉じ、ロックがかかっていること(D4SL-Nのロックモニター)を確認し、A22LKのロック解除を許可 2. A22LKのロック解除
⑪ モード切替	停止	←		A22LKにキーを挿入し、A22LKのキーを回してモードを【MAINTENANCE】から【RUN】に切り替える  A22LK キー: 抜けない
⑫ 稼働再開	停止⇒稼働			機械の起動ボタンを押し、稼働を再開する

形式構成

形式基準(セット組み合わせ発注形式)

操作部・スイッチ部をセットにしてお届けします。組合せの詳細につきましては、種類／標準価格(5 ページ)をご覧ください。

形 A22LK - □□□□ - 22 - K 01 - S J

① ② ③ ④

①操作部

記号	ノッチ数	キーを外す位置	NC接点がクローズする位置	ロック位置 *
2RLA	2			
2RLB				

*ロック/リリース方式は、ソレノイドロック/メカニカルリリースです。

②接点構成

記号	構成
22	1NC/1NO+1NC/1NO

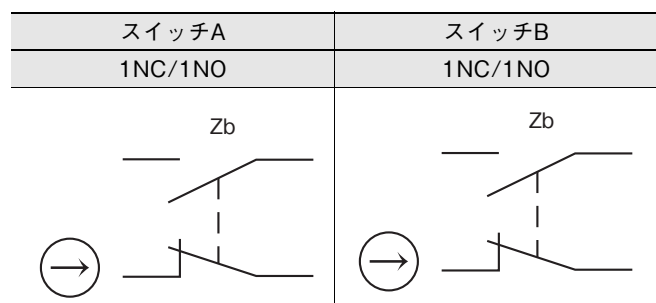
④キーの種類

記号	構成
01	1種類

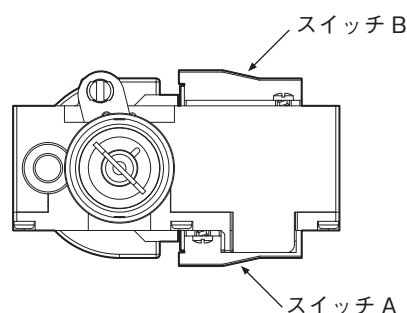
③キーの有無

記号	構成
なし	キーなし
K	キーあり

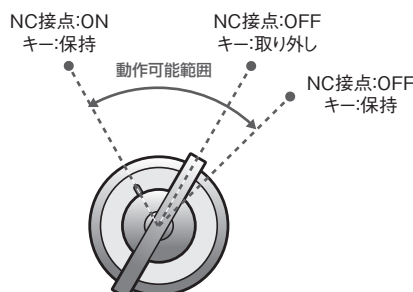
接点構成



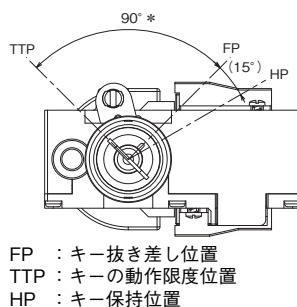
スイッチ配置図



キー抜け防止機能(形A22LK-2RLA-□の場合)



操作角度

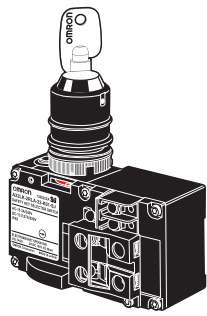
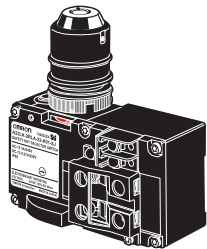


*接点を確実に切り替え、直接開路動作特性を確保するために、必ずFP (HP) もしくはTTPの位置まで確実に動かしてお使いください。

種類／標準価格

●本体

セット組み合わせ発注形式……操作部・スイッチ部をセットにしてお届けします。操作部のみの形式はお問い合わせください。

形状	キーの 外せる位置	NC接点が クローズする キー位置	ロック位置 *	接点構成	キーの 有無	形式	標準価格 (¥)
				1NC/1NO+ 1NC/1NO	有	A22LK-2RLA-22-K01-SJ	15,600
				1NC/1NO+ 1NC/1NO	有	A22LK-2RLB-22-K01-SJ	15,600
				1NC/1NO+ 1NC/1NO	無	A22LK-2RLA-22-01-SJ	15,300
				1NC/1NO+ 1NC/1NO	無	A22LK-2RLB-22-01-SJ	15,300

*ロック/リリース方式は、ソレノイドロック/メカニカルリリースです。

定格／性能

認証規格

認証機関	規格	ファイルNo.
UL	UL508、CSA C22.2 No.14	E76675
TÜV SÜD	EN60947-5-1 (直接開路動作認証)	お問い合わせください
CQC(CCC)	GB/T 14048.5	お問い合わせください
KOSHA	KS C IEC 60947-5-1	お問い合わせください

注. NC接点側のみ直接開路動作を持っています。

安全規格認証定格
TÜV(EN60947-5-1)

項目	使用カテゴリ	AC-15	DC-13
定格動作電流(Ie)		3A	0.27A
定格動作電圧T(Ue)		240V	250V

注. 短絡保護装置として、IEC60269適合の10Aヒューズ形glまたは形gGをご使用ください。本体にはこのヒューズは内蔵されていません。

電磁コイル特性

項目	種類	DC24Vタイプ
定格動作電圧		DC24V±10%
消費電流		約88mA
絶縁クラス		Class A(～105℃)

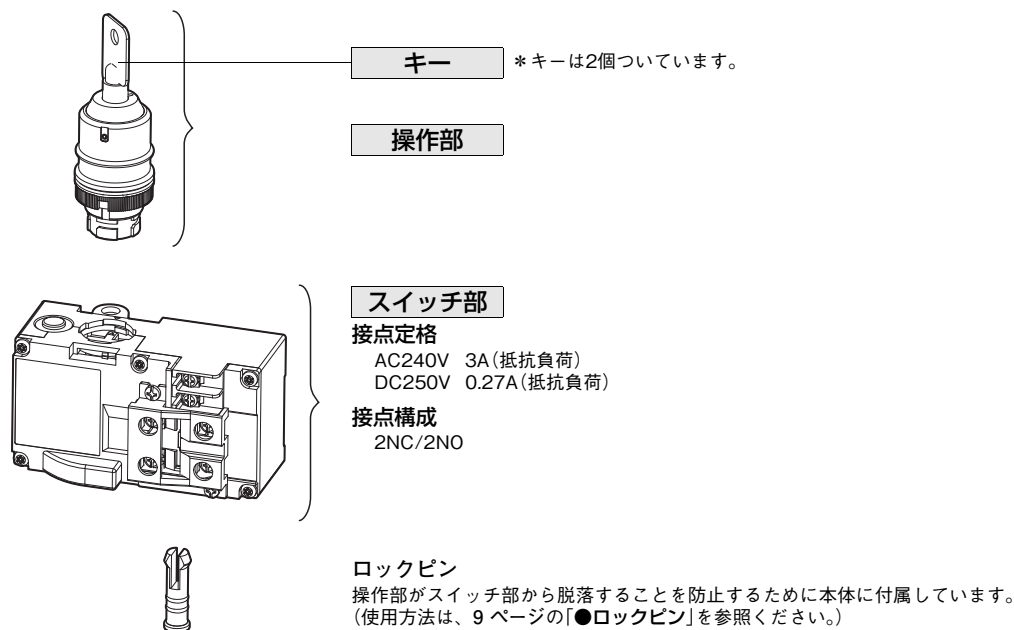
性能

項目	形式	形A22LK
許容操作 頻度	機械的	30回/min.
	電氣的	30回/min.
絶縁抵抗		100MΩ以上(DC500Vメガにて)
耐電圧	同極端子間	AC2,500V 50/60Hz 1min.
	各端子とアース間	AC6,000V 50/60Hz 1min.
振動 誤動作 *1		10～55Hz 複振幅1.5mm(1ms以内)
衝撃	耐久	1000m/s ²
	誤動作 *1	300m/s ²
耐久性	機械的	10万回以上
	電氣的	10万回以上
使用周囲温度 *2		－10～＋55℃
使用周囲湿度		35～85%RH
保護構造 *3		IP65 *3
感電保護クラス		Class II
汚染度		汚染度3(EN60947-5-1)

注1. 負荷電流は定格値以下でご使用ください。
 2. 接点 ON/OFF 動作には同時性はありません。ご使用条件にてご確認ください。
 3. 一度負荷を開閉した接点に、さらに容量の小さい負荷を接続して使用することはできません。接点表面が荒れて、接触信頼性が損なわれる恐れがあります。

*1. 誤動作1ms以内
 *2. 氷結、結露のないこと
 *3. パネル前面からの保護構造です。

構造・各部の名称

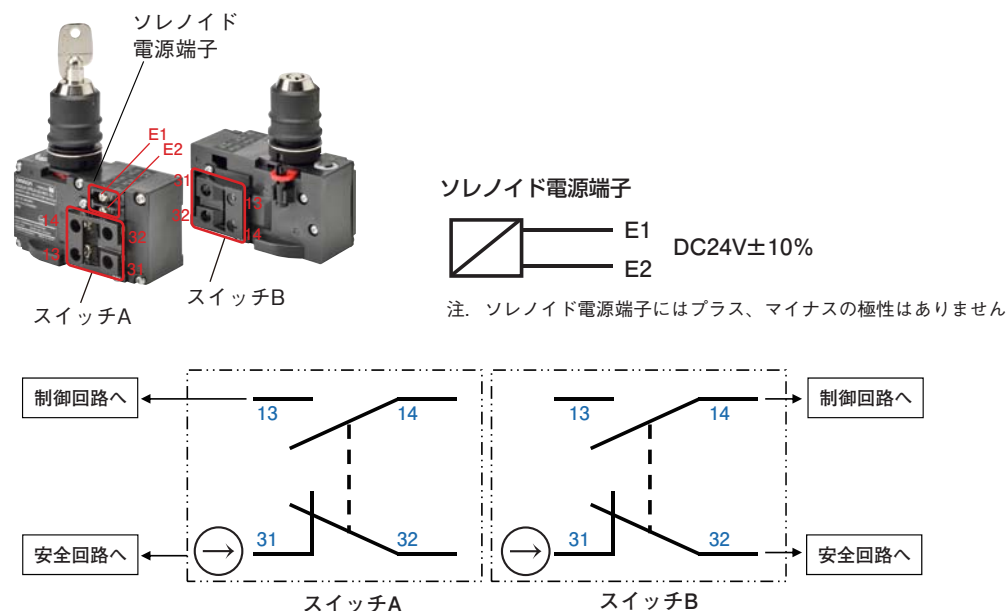


(上図はキー有タイプを例にしています。)

接続

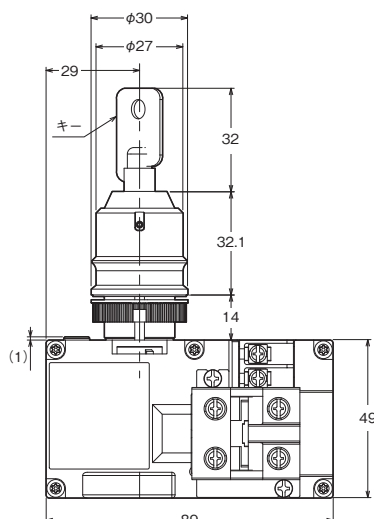
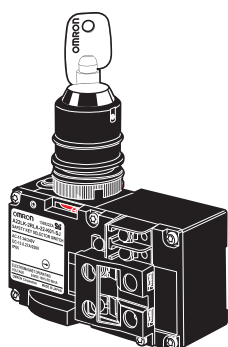
回路接続例

- ・安全回路への入力として使用できる直接開路動作接点は ⊖ 表示マークで示しています。
- ・ソノレイノドには極性はありません。



外形寸法

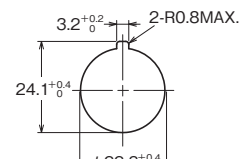
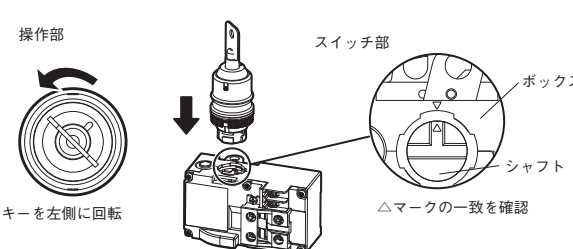
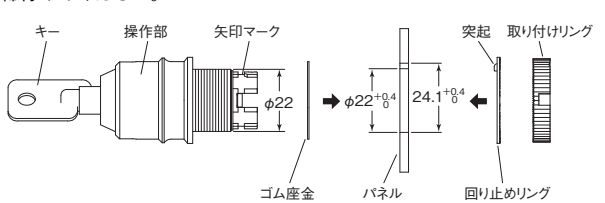
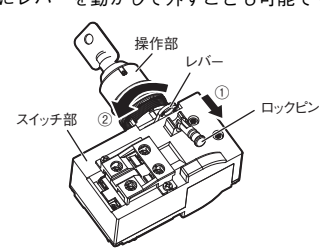
形A22LK-2RL□-22-K01-SJ



注. 各機種の外形寸法図中、指定のない部分の寸法公差は±0.8mmです。

ご使用に際して

パネル取り付けについて

①パネル加工寸法	③操作部へのスイッチの取り付け方
・パネル加工寸法は下記寸法となります。 ・パネル厚さは1～5mmとしてください。  ・回り止めリングを標準装備しています。 ・パネルに塗装などの外装処理を施される場合、指定のパネル加工寸法は、外装処理後の寸法となるように考慮してください。	・操作部にスイッチ部を取り付ける際はキーを左側に回転させた状態で行ってください。 ・スイッチ部取り付け前にスイッチ部のシャフトの△マークの位置がボックスの△マークと一致していることを確認してください。 
②パネルへの操作部の取り付け方	④取り外し方
・パネル前面より操作部を挿入し端子側より回り止めリング、取り付けリングを挿入し締付けてください。その際、操作部とパネルの間に付属のゴム座金があることを確認してください。 ・取り付けリングの締付けトルクは0.98～1.96N・mとしてください。 ・回り止めリングは、突起をパネルの回り止め凹部に挿入して、取り付けリングを締付けてください。 	①ロックピンをスイッチ部の突起部から取り外し、レバーより引き抜いてください。 ②レバーを下図の方向に動かし、操作部またはスイッチ部を引いてください。また、レバーの穴の内径は6.5mmですのでドライバなどを挿入して下図の方向にレバーを動かして外すことも可能です。 

正しくお使いください

●「押ボタンスイッチ 共通の注意事項」については、当社Webサイト（www.fa.omron.co.jp/）をご覧ください。

警告表示の意味

	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に死亡に至ったり、重傷を負う場合も起こり得ます。また、同様に深刻な物的損害をもたらす恐れがあります。
	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。
安全上の要点	製品を安全に使用するために実施または回避すべきことを示します。
使用上の注意	製品が動作不能、誤動作、または性能・機能への悪影響を予防するために実施または回避することを示します。

危険

配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があるため、人身事故に至る恐れがあります。稼動開始前には必ず安全機能が動作することを確認してください。



注意

操作部とスイッチ部が分離した場合、機器が停止せず、危険な状態になります。操作部とスイッチ部が容易に分離されないよう、ロックピンにてスイッチ部のレバーを固定してください。



[スライドキー併用時]

機械が動作し、傷害の恐れがあります。
扉が開いた状態で予備のドアスイッチ操作キーおよび予備のキーを使用して無効化しないでください。



[柵外、柵内使用時]

機械が動作し、傷害の恐れがあります。
予備のキーを使用して、柵外、柵内のスイッチを無効化しないでください。



安全上の要点

●設置環境

- ・爆発性ガス、引火性ガスなどの雰囲気中では使用しないでください。
- ・油中、水中での使用や常時水、油がかかる環境では使用しないでください。内部に水や油が浸入する恐れがあります。

●配線

- ・回路の短絡によるスイッチの破損を防ぐため、定格電流の1.5～2倍の遮断電流値のヒューズをスイッチと直列に接続してください。
- ・スイッチへ通電したまま配線作業を行わないでください。また、通電中は端子等の充電部には触らないでください。感電の恐れがあります。
- ・スイッチユニットは、接点仕様をご確認の上取り付けを行ってください。安全回路には、NC接点をご使用ください。正常に動作しない場合があります。ご使用前に安全動作を確認してください。
- ・操作部ユニットは、動作仕様をご確認の上取り付けを行ってください。正常に動作しない場合があります。ご使用前に安全動作を確認してください。
- ・感電の恐れがあります。配線作業後は必ずプロテクトを取り付けてご使用ください。また、プロテクトを取り外した状態で通電しないでください。

●設置作業

- ・製品を落下させないでください。製品機能が十分に発揮されないことがあります。
- ・製品を落下させないように取り付けの際には十分注意してください。けがをする恐れがあります。
- ・操作部のキーは身体へ接触しない箇所へ取り付けてください。けがをする恐れがあります。
- ・本製品を扉のロックやストッパーなどとして使用しないでください。製品が破損し、操作できなくなる恐れがあります。
- ・付属の回り止めリングを必ず使用してください。製品が回転し操作できなくなる恐れがあります。

●その他

- ・正常動作を損なう恐れがありますので、いかなる場合でも製品の分解・改造は行わないでください。
- ・スイッチの耐久性は開閉条件により大きく異なります。使用にあたっては必ず実使用条件にて実機確認を行い、性能上問題のない開閉回数内にてご使用ください。
- ・保守・修理の際には設備使用者ご自身での保守・修理は行わず、設備(機械)メーカーへご連絡(相談)ください。

使用上の注意

●使用環境について

- ・このスイッチは屋内仕様です。
屋外で使用了場合、スイッチ故障の原因となります。
- ・悪性ガス (H₂S、SO₂、NH₃、HNO₃、Cl₂ など) や高温高湿の雰囲気は接点接触不良や腐食による破損などを生じる原因となるので使用しないでください。
- ・下記の環境では使用しないでください。
 - ・温度変化の激しい場所
 - ・湿度が高く、結露が生じる恐れのある場所
 - ・振動の激しい場所
 - ・防護扉内側での切粉、加工屑、油、薬品のかかる場所
 - ・洗剤・シンナーなどの溶剤がかかる場所

●スイッチの保管について

- ・スイッチを保管する場合は、悪性ガス (H₂S、SO₂、NH₃、HNO₃、Cl₂ など) や塵埃、高温高湿を避けてください。

●スイッチ部の取り付けについて

- ・操作部に対して、スイッチ部は4方向に取り付けが可能です。
- ・通電状態でスイッチ部と操作部を取り外さないでください。機械が誤動作する恐れがあります。

●取り付け方法

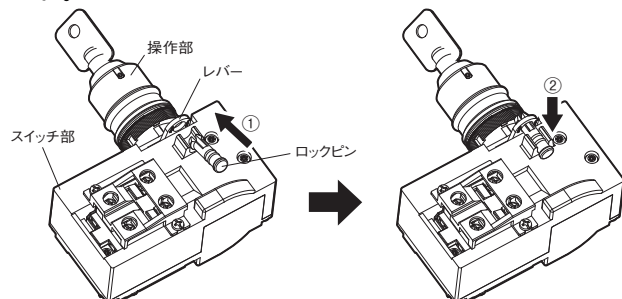
- ・ねじのゆるみは早期故障の原因となりますので、各部の適正トルクにて締付けてください。

スイッチ端子ねじ (M3.5)	0.6~0.8N・m
ソレノイド端子ねじ (M3)	0.4~0.5N・m
プロテクト取り付けねじ (M3)	0.5~0.7N・m

- ・取り付けリングの締付けは、ラジオペンチなどによる必要以上の締付けはしないでください。取り付けリングの破損となります。(締付けトルクとしては0.98~1.96N・mを定めています。)

●ロックピン

- ・スイッチ部から操作部が脱落しないようロックピンは必ず取り付けてください。
- ・ロックピンの取り付け方
 - ①スイッチ部のレバーの位置がLOCK側にあることを確認し、ロックピンの先端をレバーの穴に挿入してください。
 - ②ロックピンをスイッチ部の突起部に押し込んでください。

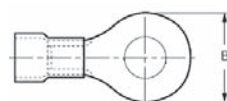


●ソレノイドロック解除について

- ・ロックを解除する際にキーに荷重がかかっているとロックが外れない場合があります。ロック解除は必ずキーをFP、HPまたはTTP位置まで戻した状態で行ってください。

●配線について

- ・適正リード線サイズはAWG20~18(0.5~0.75mm²)です。
- ・圧着端子をご使用の場合は、下図に示す寸法の物をお選びください。



スイッチ端子 寸法B: φ6.6mm
ソレノイド端子 寸法B: φ5.2mm

- ・配線外れの原因となるためリード線を過大な力で引張らないでください。
- ・ケーブルは繰返し屈曲できません。
- ・ケーブルを曲げて配線する場合は、曲げ半径をR45mm以上とり、ケーブルの絶縁体、シースなどを損傷させないでください。火災、漏電の原因になります。
- ・負荷電流は定格値以下でご使用ください。

●その他

- ・定期点検を計画的に行ってください。
- ・キースイッチを、マシンの停止始動用には使用しないでください。
- ・キーによるモードの切替は作業マニュアルで定められた作業担当者のみが行ってください。

オムロン商品ご購入のお客様へ

ご承諾事項

平素はオムロン株式会社(以下「当社」)の商品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

「当社商品」のご購入について特別の合意がない場合には、お客様のご購入先にかかわらず、本ご承諾事項記載の条件を適用いたします。ご承諾のうえご注文ください。

1. 定義

本ご承諾事項中の用語の定義は次のとおりです。

- (1) 「当社商品」: 「当社」の F A システム機器、汎用制御機器、センシング機器、電子・機構部品
- (2) 「カタログ等」: 「当社商品」に関する、ベスト制御機器オムロン、電子・機構部品総合カタログ、その他のカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等であって電磁的方法で提供されるものも含みます。
- (3) 「利用条件等」: 「カタログ等」に記載の、「当社商品」の利用条件、定格、性能、動作環境、取り扱い方法、利用上の注意、禁止事項その他
- (4) 「お客様用途」: 「当社商品」のお客様におけるご利用方法であって、お客様が製造する部品、電子基板、機器、設備またはシステム等への「当社商品」の組み込み又は利用を含みます。
- (5) 「適合性等」: 「お客様用途」での「当社商品」の (a) 適合性、(b) 動作、(c) 第三者の知的財産の非侵害、(d) 法令の遵守および (e) 各種規格の遵守

2. 記載事項のご注意

「カタログ等」の記載内容については次の点をご理解ください。

- (1) 定格値および性能値は、単独試験における各条件のもとで得られた値であり、各定格値および性能値の複合条件のもとで得られる値を保証するものではありません。
- (2) 参考データはご参考として提供するもので、その範囲で常に正常に動作することを保証するものではありません。
- (3) 利用事例はご参考ですので、「当社」は「適合性等」について保証いたしかねます。
- (4) 「当社」は、改善や当社都合等により、「当社商品」の生産を中止し、または「当社商品」の仕様を変更することがあります。

3. ご利用にあたってのご注意

ご採用およびご利用に際しては次の点をご理解ください。

- (1) 定格・性能ほか「利用条件等」を遵守しご利用ください。
- (2) お客様ご自身にて「適合性等」をご確認いただき、「当社商品」のご利用の可否をご判断ください。
「当社」は「適合性等」を一切保証いたしかねます。
- (3) 「当社商品」がお客様のシステム全体の中で意図した用途に対して、適切に配電・設置されていることをお客様ご自身で、必ず事前に確認してください。
- (4) 「当社商品」をご使用の際には、(i) 定格および性能に対し余裕のある「当社商品」のご利用、冗長設計などの安全設計、(ii) 「当社商品」が故障しても、「お客様用途」の危険を最小にする安全設計、(iii) 利用者に危険を知らせるための、安全対策のシステム全体としての構築、(iv) 「当社商品」および「お客様用途」の定期的な保守、の各事項を実施してください。
- (5) 「当社」は DDoS 攻撃 (分散型 DoS 攻撃)、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、「当社商品」、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用について一切責任を負わないものとします。
お客様ご自身にて、(i) アンチウイルス保護、(ii) データ入出力、(iii) 紛失データの復元、(iv) 「当社商品」またはインストールされたソフトウェアに対するコンピュータウイルス感染防止、(v) 「当社商品」に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。

- (6) 「当社商品」は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様が「当社商品」をこれらの用途に使用される際には、「当社」は「当社商品」に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても「当社」の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。
 - (a) 高い安全性が必要とされる用途 (例: 原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶ用途)
 - (b) 高い信頼性が必要な用途 (例: ガス・水道・電気等の供給システム、24 時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など)
 - (c) 厳しい条件または環境での用途 (例: 屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など)
 - (d) 「カタログ等」に記載のない条件や環境での用途
- (7) 上記 3. (6) (a) から (d) に記載されている他、「本カタログ等記載の商品」は自動車 (二輪車含む。以下同じ) 向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないで下さい。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。

4. 保証条件

「当社商品」の保証条件は次のとおりです。

- (1) 保証期間 ご購入後 1 年間といたします。
(ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。)
- (2) 保証内容 故障した「当社商品」について、以下のいずれかを「当社」の任意の判断で実施します。
 - (a) 当社保守サービス拠点における故障した「当社商品」の無償修理
(ただし、電子・機構部品については、修理対応は行いません。)
 - (b) 故障した「当社商品」と同数の代替品の無償提供
- (3) 保証対象外 故障の原因が次のいずれかに該当する場合は、保証いたしません。
 - (a) 「当社商品」本来の使い方以外のご利用
 - (b) 「利用条件等」から外れたご利用
 - (c) 本ご承諾事項「3. ご利用にあたってのご注意」に反するご利用
 - (d) 「当社」以外による改造、修理による場合
 - (e) 「当社」以外の者によるソフトウェアプログラムによる場合
 - (f) 「当社」からの出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった原因
 - (g) 上記のほか「当社」または「当社商品」以外の原因 (天災等の不可抗力を含む)

5. 責任の制限

本ご承諾事項に記載の保証が、「当社商品」に関する保証のすべてです。

「当社商品」に関連して生じた損害について、「当社」および「当社商品」の販売店は責任を負いません。

6. 輸出管理

「当社商品」または技術資料を、輸出または非居住者に提供する場合、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の法令・規制を遵守ください。お客様が法令・規制に違反する場合には、「当社商品」または技術資料をご提供できない場合があります。

- ご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容については、本誌またはユーザーズマニュアルに掲載しております。
- 本誌にご使用上の注意事項等の掲載がない場合は、ユーザーズマニュアルのご使用上の注意事項等を必ずお読みください。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先

お客様
相談室

**0120-919-066**
携帯電話の場合、☎ 055-982-5015 (有料) をご利用ください。
受付時間: 9:00~17:00 (土・日・12/31~1/3 を除く)

**オムロンFAクイックチャット**
www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/
技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。(I-Web メンバース限定)
受付時間: 平日 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土日祝日・年末年始・当社休業日を除く)
※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。



その他のお問い合わせ:

納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。
オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Web ページでご案内しています。

オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。

www.fa.omron.co.jp

緊急時のご購入にもご利用ください。